

「神と向き合い、隣人と向き合い、自分と向き合う」
(申命記4章25—31節、マタイによる福音書22章34—40節)

I. 「7日間ブックカバーチャレンジ」

II. 主イエスへのチャレンジ

III. 試みる意図はどこにあったのか

○「あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。それなのに、あなたたちは、命を得るためにわたしのところに来ようとしない」(ヨハネ5：39)

○「就任説教」：「イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある箇所が目にとまった。『主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれ人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、 圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。』 イエスは巻物を巻き、係りの者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。そこでイエスは、『この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した』と話し始められた。」(ルカ4：16—21)

○「はっきりしておく。徴税人や娼婦たちの方が、あなたたちより先に神の国に入るだろう」(マタイ21：31)

IV. 神と向き合い、隣人と向き合い、自分と向き合う

○「イエスはそのをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、『わたしに従いなさい』と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った」(マタイ9：9)

○「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マタイ9：13)

